

週報

こひつじ

第39巻 9号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

私とキリスト教との出会い

後藤加奈子

その二 信仰はどんな影響を私に与えたか

母は愛情深く、おしゃれな女性でした。

毎日を精一杯生きていきました。しかし無学で、身近な人から聞いた話がすべてでしたから、キリスト教をよく思っています。

戦時中、クリスチャンは投獄され、もっと前は殺されたりした。よくない事をするからそんな扱いを受けたのだ、と教えられていたようです。

私は母からその話を繰り返し聞きました。

母は、私が教会と関わることを望んでいなかったのです。私はというと、母の心配をよそ、その後、何回か教会を訪ね

私を待ってくださったのです。ぜか」

その二〇年間の出来事を話すには時間がかかります。ですから、今日は、私が初めて教会に行った日のことだけです。

次に「信仰は自分の人生にどんな影響を与えたか」についても話してほしいとのことでした。

影響はたくさん受けました。私が聖書を読み始めたのは、結婚して、子どもができた頃で、育児しながらでした。

「必要なものは一つだけである。マリヤはよい方を選んだ」と言われたイエス様の言葉に驚きました。働きのマルタさんが

放蕩息子のたとえ話では、どうしようもない息子を父親が責めるどころか温かく家の中に迎え入れたことに、もっとも驚きました。

「私に起こったのも、これと同じです。」

ある日、ヨハネ九章の盲目の人の話が心に強く響きました。イエスは、

「彼が盲目に生まれついたのはな

祈る対象が神棚の神様ではなく、仏壇の位牌の父ではなく、全知全能の神、私の主、天のお父様に変

わったとき、私の生きる方向も変

わったとき、私の生きる方向も変

わったとき、私の生きる方向も変

わったとき、私の生きる方向も変

わかりました。物事の基準が少しずつ変わっていききました。

先週の礼拝

性格が大きく変わったわけでも、人として大きく成長できたわけでもありません。それでも心がどこに向いているかで、生活の仕方

も日々小さな選択も変わってゆくのだと思います。そして今、からだは老いても、魂は若返ることができると感じています。

私の願いは、いつも神さまのみぞば近くにいることです。私の希望がこの世のものから、天にあるものへと変わったのは、信仰が私の人生に与えた影響の一つだと思います。

私は今年還暦を迎えましたが、この歳でこちらの大阪教会に導かれ、皆さんと出会えたことは神様の恵みです。どうぞこれからもよろしく願います。(終)

今日の礼拝

○第一礼拝は午前10時から、
第二礼拝は午前11時から、
○教会学校は午前10時から、
○説教は岩崎宏志さん。

収まりつつあるように思われます。先週から、礼拝賛美も一曲から二曲に増えました。

五月になれば、新型コロナウイルスも、感染法上、インフルエンザと同じに扱われるそうです。そうなる教会活動もかなり自由になるかと思えます。

しかし、しばらくは、礼拝は、これまでどおり二回にわけて行ない、マスクの着用もお願いすることになるかと思えます。

ヨセフも自分の不幸を泣きましたが、その必要はありませんでした。神が悪をも善に変えてくださっていたからです。

私たちも、しばしば泣く必要がないのに泣いている。不幸ではないのに不幸だと思つて泣いているということはないでしょうか。

今後の礼拝

新型コロナウイルスの感染者数は、まだ少ないとは言えませんが、徐々に